



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ソースネクスト株式会社

コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 憲幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役アドミニストレーショングループ担当 常務執行役員 (氏名) 青山 文彦

TEL 03-6430-6406

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,634	9.6	517	64.2	503	70.4	575	78.1
25年3月期第2四半期	2,403	△6.0	315	188.2	295	185.6	323	253.2

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 575百万円 (78.1%) 25年3月期第2四半期 323百万円 (253.2%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
26年3月期第2四半期	18.14		—	
25年3月期第2四半期	10.18		—	

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。また、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
26年3月期第2四半期	3,647		2,134		58.5	67.25		
25年3月期	3,444		1,558		45.2	49.10		

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 2,133百万円 25年3月期 1,558百万円

平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり純資産につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	5,383	4.4	819	6.1	802	10.2	833	3.5	26.27	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。(当該株式分割が期首に行なわれたと仮定して算定)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	31,732,000 株	25年3月期	31,732,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	31,731,997 株	25年3月期2Q	31,732,000 株

平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記発行済株式数(普通株式)につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定してそれぞれ算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景とした円高の是正や株価の回復が進み、企業業績も改善に向かい、景況感に明るい兆しが強まりつつあります。しかしながら、消費税引き上げに伴う個人消費の低迷や海外の景気不振懸念は解消しておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、当第2四半期連結累計期間におけるパソコンソフトウェア市場の店頭販売本数は、前年同期比94.3%（※）で推移いたしました。また、JEITAの発表によると、当第2四半期連結累計期間のパソコン出荷台数は、法人向けリプレース需要が堅調に推移し、前年同期比91.4%で推移いたしました。

こうした状況の中、当社グループは以下の施策に注力して業績拡大を図って参りました。その結果、売上高は26億34百万円（前年同期比9.6%増）となり、営業利益は前年同期比1.6倍の5億17百万円（前年同期比64.2%増）、経常利益は前年同期比1.7倍の5億3百万円（前年同期比70.4%増）、四半期純利益は前年同期比1.8倍の5億75百万円（前年同期比78.1%増）となり、第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益としては、過去最高益となりました。

※ジーエフケーマーケティングサービスジャパン調べ全国有力家電量販店販売実績の集計結果に基づく

以下、店頭販売本数及び販売本数シェア、店頭販売金額も同様

### ① セキュリティソフト

当第2四半期連結累計期間におきまして、当社のセキュリティソフトの概況は以下の通りです。

ウイルスセキュリティZERO	平成15年より自社ブランドのセキュリティ対策ソフトとして展開しております。平成19年、20年、23年の年間販売本数は第1位を獲得しており、シリーズ全体の累計ユーザー登録数は、868万人となっております。
スーパーセキュリティZERO	平成23年12月に世界最高レベルの技術を持つBitdefender, SRLのセキュリティソフトを発売いたしました。平成25年4月には、3ライセンスを1セットにした「スーパーセキュリティZERO 3台用」も発売いたしました。
クラウドセキュリティZERO	平成25年5月に、第3のセキュリティソフトとして世界155ヶ国、1,000万人以上に利用されているMicroWorld Technologies, Inc.の「eScan Internet Security Suite」を当社Webサイト限定で発売いたしました。

それぞれ違った特徴を持つこれらの製品は全て、対応OSの公式サポート期間中は、年間更新料が0円となっております。今回、上記のセキュリティソフト3タイトルを「ZERO」シリーズとして訴求し、よりお客様の目的に応じたセキュリティソフトを提供できるようにいたしました。

こうした状況の中、店頭では「ウイルスセキュリティZERO」、「スーパーセキュリティZERO」、「スーパーセキュリティZERO 3台用」の展開を推し進めて参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセキュリティソフトの店頭販売本数は、セキュリティソフト市場全体が前年同期比98.1%と減少したのに対し、当社は前年同期比100.8%と前年同期を上回る水準となりました。また、店頭販売金額は、セキュリティソフト市場全体が前年同期比96.5%と減少したのに対し、当社は前年同期比111.6%と大きく前年同期を上回り、シェアも9.6%と前年同期の8.3%から1.3ポイント増加し10%に迫る水準となっております。これにより、店頭販売本数は5四半期連続、店頭販売金額は7四半期連続で前年同期を上回る結果となりました。

### ② スマートフォン向けアプリケーション

成長著しいスマートフォン市場において、アプリケーションの開発及び販売に注力して参りました。当第2四半期連結累計期間におきましては、5月に開始した株式会社NTTドコモのスマートフォン向け月額サービス「スゴ得コンテンツ」が会員数100万人を超えており（2013年7月、株式会社NTTドコモ発表による）、当社が提供している「超電卓」、「万能カメラ」及び「ThinkFree Office」の3タイトルが定番アプリとして好評を博しました。また、KDDI株式会社のスマートフォン向け月額サービス「auスマートパス」におきましては、平成24年3月のサービス開始と同時に「アプリ取り放題」への提供を開始して以来、アプリケーションのバージョンアップを継続して行なうと共に、提供するタイトル数も順調に増やして参りました。

当第2四半期連結会計期間におきましては新規の提供アプリを2タイトル追加し、そのうち1タイトルが7月の月間ランキングで上位10位以内にランクインするなど好評を得ております。当第2四半期連結会計期間末におけるスマートフォン向けアプリケーションのタイトル数は、Androidアプリケーション21タイトル、iPhoneアプリケーション5タイトルとなっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるスマートフォン向けアプリケーションの売上は、3億95百万円(前年同期比49.6%増)となりました。

### ③ パソコンソフト使い放題サービス

当社ソフトの「ウイルスセキュリティ」、「筆王」及び「いきなりPDF」など50タイトル以上のコンテンツが月々590円(税込)の定額料金で使い放題となるサービス「パソコンソフト使い放題 on フレッツ powered by OPTiM」が東日本電信電話株式会社に採用され、平成25年5月よりサービスを開始いたしました。6月にはUQコミュニケーションズ株式会社、8月には九州通信ネットワーク株式会社でも採用され、次々に提供を開始しております。これらのサービスの提供によって、各キャリア・ISP(インターネットサービスプロバイダ)事業者の契約者に当社ソフトを提供でき、当社製品の拡販に繋がると考えております。今後、タイトル数の増加や製品のバージョンアップを通じてサービス内容を向上させ、会員数の増加を図ると共に、他のキャリア・ISP事業者と連携し当社製品の拡販に努めて参ります。

### ④ 海外製品の発掘及び国内での販売状況

当社は、開発者とエンドユーザーをつなぐことをミッションとして、平成24年9月に米国のシリコンバレーに子会社を設立して以来、海外の優れた製品の発掘、及び日本国内での販売活動を積極的に行なって参りました。当第2四半期連結累計期間は、全世界で累計1500万以上のダウンロード実績を持つ、スマートフォン・タブレットからPC・Macを遠隔操作するアプリ「Splashtop Remote Desktop」につきまして、日本国内での販売に向けて業務提携をいたしました。また、2012年Googleの「Best App」に選出されたAndroid向け人気PDFリーダーアプリ「ezPDF Reader」や、全世界のダウンロード数が累計17億回以上の大ヒットゲーム「Angry Birds」シリーズ、更には独自のAR技術を利用した画期的なアプリ「colAR Mix - 3D めりえアプリ」、パソコンのWebブラウザからAndroid 端末を操作したりデータ編集できる「Google Play」で評価4.7を獲得した人気サービス「Airdroid」など、米国のみならず全世界から人気の製品・サービスを日本市場にて販売すべく、提携を拡大して参りました。その他、Android端末で、言葉を話すと自動で歌になるアプリ「言わなきヤソング♪」を、KDDI株式会社が提供する「auスマートパス」のコンテンツとして、9月より提供開始しました。今後も、海外優良製品の発掘及び国内での販売をより一層強化して参ります。

### ⑤ 当社Webサイトの機能強化

前連結会計年度に引き続き、当社Webサイトの「マイページ」の充実及びスマートフォンへの対応を推し進めて参りました。「マイページ」とは、当社製品を購入した顧客が当社Webサイトにてユーザー登録することにより利用できる各顧客専用のページです。当第2四半期連結累計期間におきましては、ユーザーが個別に購入候補製品をリストアップできるサービス「気になるかも」が第1四半期連結累計期間に続きご好評をいただいております。第1四半期連結会計期間末時点で2万点以上だった購入候補リスト数は、第2四半期連結会計期間末時点では5万点以上に増加しております。

### ⑥ その他製品

平成24年6月に、有名映像クリエイターが演出した高品質フォトムービー「心に響くWeddingフォトムービー」を発売いたしました。初心者でも簡単にハイクオリティなフォトムービーが作れるソフトは発売当初から人気を集め、9月の製品別店頭販売本数では第1位となり、27.5%のシェアを獲得することができました。

また、8月には業界No.1の素材数を誇るハガキ作成ソフト「筆王」の新作を発売いたしました。「筆王」は新たにクラウドバックアップ機能の追加や、住所録画面を更に使いやすくリニューアルし、販売活動に注力して参りました。その結果、9月のハガキジャンル作成ソフト市場におきましては、前年同月本数比126.9%と大きく前年同月を上回り、シェアも29.3%と前年同月の24.7%から4.6ポイント増加しました。さらにソースネクストeSHOPでは、製品のバージョンアップの購入導線を見直しすることにより、アップグレードキーの売上本数が前年同月比216.5%と好調に推移いたしました。

⑦ その他

当第2四半期連結累計期間において、当社のシステムの維持管理コストの削減と安定稼働を目的として、サーバーのクラウド化を推し進めて参りました。その結果、サーバー移行作業等による業務委託費が前年同期と比べ大きく増加いたしました。これにより、稼働状況に応じたサーバーの増強等を適時に行なうことができ、今後のサーバー維持管理コストの削減が可能となります。その他、株式分割や海外商標出願に伴う業務委託費の増加や、業容拡大に伴う社員の増加による人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費は、前第2四半期連結累計期間と比較して1億50百万円増加し、14億27百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間において、開発委託先との契約更新により将来の発生費用が下がる見込みとなったため、引当金の戻し入れ56百万円が発生しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、2億2百万円増加し、36億47百万円となりました。流動資産は、2億円増加し26億14百万円、固定資産は、2百万円増加し10億33百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、売掛金の増加1億37百万円、繰延税金資産の増加1億2百万円によるものであります。固定資産の増加の主な要因は、ソフトウェアの増加45百万円、及び子会社出資金（非連結）の減少61百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ3億73百万円減少し、15億13百万円となりました。流動負債は、1億97百万円減少し11億69百万円、固定負債は、1億76百万円減少し3億43百万円となりました。流動負債の減少の主な要因は、買掛金の減少34百万円、未払金の減少52百万円、アフターサービス引当金の減少52百万円によるものであります。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の減少1億76百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億76百万円増加し、21億34百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、四半期純利益5億75百万円によるものであります。なお、純資産の増加により自己資本比率は58.5%となり、前連結会計年度末45.2%と比べ13.3ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,256,836	844,011
受取手形及び売掛金	657,064	794,211
有価証券	—	300,000
商品及び製品	63,788	70,710
原材料及び貯蔵品	12,310	22,518
前渡金	82,943	141,523
繰延税金資産	274,911	377,268
その他	66,108	63,990
流動資産合計	2,413,964	2,614,234
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	199,216	203,714
減価償却累計額	△165,194	△172,623
有形固定資産合計	34,021	31,091
無形固定資産		
ソフトウェア	665,473	711,257
その他	106,642	127,443
無形固定資産合計	772,115	838,700
投資その他の資産		
繰延税金資産	47,150	50,289
その他	177,398	113,048
投資その他の資産合計	224,549	163,337
固定資産合計	1,030,687	1,033,129
資産合計	3,444,651	3,647,364
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,085	172,088
短期借入金	137,244	132,000
1年内返済予定の長期借入金	352,128	352,128
未払金	341,876	289,061
未払法人税等	58,217	41,169
賞与引当金	8,312	10,309
返品調整引当金	62,024	42,473
アフターサービス引当金	75,456	22,600
その他	124,221	107,680
流動負債合計	1,366,567	1,169,512
固定負債		
長期借入金	519,808	343,744
その他	193	5
固定負債合計	520,001	343,749
負債合計	1,886,568	1,513,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	△1,825,282	△1,249,684
自己株式	—	△1
株主資本合計	1,557,170	2,132,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△376	△926
為替換算調整勘定	1,288	1,692
その他の包括利益累計額合計	912	766
新株予約権	—	568
純資産合計	1,558,082	2,134,101
負債純資産合計	3,444,651	3,647,364



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,403,164	2,634,750
売上原価	809,970	709,460
売上総利益	1,593,193	1,925,290
返品調整引当金繰入額	80,494	42,473
返品調整引当金戻入額	79,141	62,024
差引売上総利益	1,591,840	1,944,841
販売費及び一般管理費	1,276,818	1,427,629
営業利益	315,022	517,212
営業外収益		
受取利息	95	479
為替差益	10,041	—
債務勘定整理益	5,488	1,361
その他	91	14
営業外収益合計	15,716	1,855
営業外費用		
支払利息	15,463	9,489
支払手数料	15,000	—
為替差損	—	5,756
在外子会社清算損失引当金繰入額	4,807	—
その他	166	500
営業外費用合計	35,437	15,746
経常利益	295,300	503,321
特別利益		
関係会社清算益	—	3,195
特別利益合計	—	3,195
特別損失		
前渡金評価損	13,126	2,304
特別損失合計	13,126	2,304
税金等調整前四半期純利益	282,173	504,213
法人税、住民税及び事業税	19,928	34,110
法人税等調整額	△60,919	△105,495
法人税等合計	△40,991	△71,385
少数株主損益調整前四半期純利益	323,164	575,598
四半期純利益	323,164	575,598

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	323,164	575,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△550
為替換算調整勘定	—	404
その他の包括利益合計	—	△145
四半期包括利益	323,164	575,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,164	575,452
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	282,173	504,213
減価償却費	92,098	86,381
ソフトウェア償却費	87,976	114,196
商標権償却費	39,565	29,345
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,034	1,996
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,353	△19,551
アフターサービス引当金の増減額(△は減少)	△5,449	△52,855
在外子会社清算損失引当金の増減額(△は減少)	4,807	—
受取利息	△95	△479
支払利息	15,463	9,489
支払手数料	15,000	—
関係会社清算損益(△は益)	—	△3,195
売上債権の増減額(△は増加)	△86,323	△137,147
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,629	△17,130
前渡金の増減額(△は増加)	41,943	△58,579
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,724	△34,997
未払金の増減額(△は減少)	15,256	△154
その他	△60,073	△6,100
小計	483,637	415,432
利息の受取額	95	439
利息の支払額	△9,968	△9,052
法人税等の支払額	△2,379	△50,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,384	356,374
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△200,000
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△2,433	△4,521
ソフトウェアの取得による支出	△175,770	△290,151
敷金及び保証金の差入による支出	△300	—
商標権の取得による支出	—	△51,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,504	△246,473
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△203,000	55,000
長期借入れによる収入	1,048,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,127,082	△176,064
手数料の支払額	△15,000	—
リース債務の返済による支出	△2,506	△2,631
自己株式の取得による支出	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,588	△123,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	971
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,735	△12,825
現金及び現金同等物の期首残高	967,328	956,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	960,592	944,011

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。